

○千葉大の女性のキャリア支援サポートは理系にあるようだが、看護学部は入れているのか？

○病院のある大学がサポート支援しているところが多い。病院職員と一緒に。

○女性研究者のネットワークもある。国公立が中心となって活動している。大きい大学だと組織内で女性研究者サポートがあったりする。看護系大学の場合、そもそもが女性ばかり。

○結婚していない上司の多い大学の場合、若手の結婚・出産に対して非常に冷ややかだったりする。気持ちと実質の面でどうなのか？

→高齢出産が増えているので、どうなのだろうか？

○女性の多いところだと、家政学部はどうなのだろうか？

○大学教員の募集サイトがある。辞めたくないと見る。そこにも託児所の有無などページがあるはず。

→男女共同参画のHPにはある。

○ふつうの就職情報誌に出ているような子育てなどに関する情報が、大学教員の募集には出ていない。

→そういう情報を出して募集した方が、優秀な研究者が集まるのでは？

○男性研究者は育児は配偶者に任せていることが多いが、女性の場合は自分でやっていることが多い。

○ほかの職種に比べると比較的大学教員の自由度は高いと思うので、育児にもかかわっていることが多いのではと思うが、それでも男性の育児参加は低い。

○看護系教員になぜ結婚しない人が多いのか？ずっと働いてきて結婚や出産の目途が立たなかった人が大学院に進学するのか？

→以前は20代での結婚が多かったのも考えられるが、今は結婚する人が30代が多いのでそれは考えにくいかも？